

## 県外行政調査先の選定理由等

【10月18日（水）】

- 1 調査先 青森県議会（青森県青森市）  
調査内容 ・自然環境の保全について  
・森林保全および再生について  
・CO<sub>2</sub>ネットゼロおよび企業のGX推進の取組について

青森県は、令和2年3月に策定された第6次青森県環境計画において、2030年の目指すべき姿として「自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会の形成」を基本目標に掲げ、自然環境の保全に関する取組を進めている。

特に湖沼の保全については、水質・生態系改善行動指針を定め、水質の改善や水産資源の管理等をされており、森林の保全については、青い森県産材利用促進プランを策定し、ヒバやスギなどの県産材の利用促進にも取り組まれている。

また、CO<sub>2</sub>ネットゼロ等の推進では、令和3年2月の県議会定例会において、「2050年までの温室効果ガス排出実質ゼロを目指して取り組む」ことを県として表明され、青森県地球温暖化対策推進計画に基づき取組を進められているところである。

については、今後の委員会活動の参考とするため、青森県を訪問し、湖沼や森林における自然環境保全の取組等について調査を行うとともに、CO<sub>2</sub>ネットゼロやGXの推進の取組状況等について調査を行った。

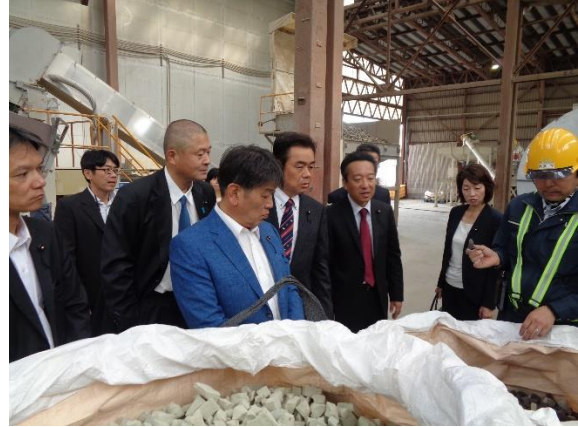
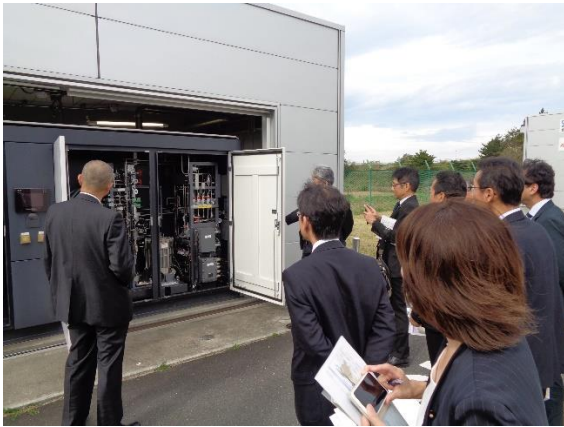


【10月19日（木）】

- 2 調査先 三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合  
（青森県上北郡おいらせ町、三沢市）  
調査内容 ・水素ステーション事業について  
・ソーラーリユース・リサイクル事業について

三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合は、東日本大震災をきっかけに再生可能エネルギーを活用し、地域の発展に貢献することを目的に2012年8月に設立され、メガソーラー発電事業をはじめ、今後の社会的な課題なると考えられる廃ソーラーパネルのリユース・リサイクルや次世代エネルギーの活用として水素ステーションを設置するなど、先進的な事業を展開されている。

本委員会では、本県におけるGXの推進についてを重点調査項目に掲げ、CO<sub>2</sub>排出削減と同時に経済成長を実現する様々な取組等について調査することとしており、今後の委員会活動の参考とするため、当該組合の水素ステーション施設およびソーラーリユース・リサイクル施設を訪問し、再生可能エネルギーの活用および資源化に関する取組について調査を行った。



3 調査先 二又風力発電所（青森県上北郡六ヶ所村）  
調査内容 ・風力発電事業について

二又風力発電所は、二又風力開発株式会社が運営する世界で初めての大容量蓄電池を併設したスマートグリッド型※の風力発電所であり、34基の風力発電を有し、総発電出力 51,000 kW の発電能力を持つ大型の風力発電施設である。

本県においては、滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進計画の2030年中期目標において、風力発電の導入目標を78,000 kWとしているところである。

については、今後の委員会活動の参考とするため、二又風力発電所を訪問し、風力発電事業についての調査を行った。



※次世代電力網と呼ばれる新たな電力供給システム。従来の電力供給システムとは異なり電力供給側と需要側の両方から制御できる双方向の電力網を構成することで、使用する電力量を最適化できる。